

事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部自然環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	田中 莊一
事業群名	豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 子どもたちが多様な自然を体験できる場所や機会を提供するとともに、高齢者が自然とのふれあいを享受できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。また、増加する外国人利用客をはじめ、多様なニーズに対応した情報発信を行います。						(取組項目))自然公園施設等の計画的整備の推進)人にやさしい施設への対応)多様なニーズに対応した自然体験情報の発信)エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析) 近年、公園利用に対する社会のニーズが多様化し、より多くの人が自然の豊かさを享受できるようにユニバーサルデザイン化の必要性が高まっており、公衆トイレの洋式化やバリアフリー化等の推進に取り組んでいるが、平成28年度の自然公園利用者数は熊本地震(平成28年4月)の影響等により、目標値に達しなかった。
事業群	自然公園利用者数	14,896千人	14,512千人	13,695千人	94%	
関連指標 その他						

2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要 事業対象 28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率	
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—	
取組項目	自然公園計画検討費	自然環境課	218	218	1,613	県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	吉岐対馬国定公園において、利用計画の見直しの必要性について関係市と調整を行った。	活動指標 審議会(自然環境部会)回数(回)	数値目標なし	0	—	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施することにより、県内の自然公園の面積は県土の約18%を維持しており、生物の生息・生育の場として生物多様性の保全に寄与している。	○
			262	262	2,019					数値目標なし	—		
	自然環境課	自然環境課						成果指標 自然公園面積(ha)	74,091	74,091	100%		
									74,091	—	—		
	西海国立公園リニューアル整備事業(公共)	H28-30	41,086	3	2,420	西海国立公園の優れた自然を享受する公園利用者	自然環境整備交付金を活用し、西海国立公園内の重要な施設を計画的に再整備を行う。	活動指標 自然公園施設整備箇所数(箇所)	2	2	100%	熊本震災の影響により利用者数が減少し、成果指標の目標を達成できなかったが、利用者増に対応するためのトイレの増設や老朽化が進んだ施設の再整備を行い、安全性及び利便性が向上した。	○
			69,600	88	4,037				3	—	—		
	自然環境課	自然環境課						成果指標 自然公園利用者数(千人)	14,512	13,695	94%		
									14,608	—	—		
	自然公園等総合整備事業費	(H28終了) H23-28	8,351	27	2,016	県内の優れた自然を享受する公園利用者	国立公園内の国直轄事業、国定公園内の交付金事業の対象とならない自然公園施設について、既存施設のリニューアル、新規箇所の整備を進めた。	活動指標 自然公園施設整備箇所数(箇所)	1	1	100%	熊本震災の影響により利用者数が減少し、成果指標の目標を達成できなかったが、適切な施設整備を行い、公園利用者の安全を確保した。	
			—	—	—				—	—	—		
	自然環境課	自然環境課						成果指標 自然公園利用者数(千人)	14,512	13,695	94%		
									—	—	—		

取組項目	九州自然歩道リニューアル整備事業（公共）	(H28 終了) H26-28	19,449	10,697	3,226	九州自然歩道の利用者	九州自然歩道に設置している標識等の老朽化及び破損が全区間で散見され、利用に支障をきたしているため、自然環境整備交付金を活用し、3年間で計画的な再整備を行った。	活動指標	自然公園施設整備ルート箇所数(箇所)	5	5	100%	熊本震災の影響により利用者数が減少し、成果指標の目標を達成できなかったが、歩道の案内・情報提供が適切に行われ、利便性が向上した。		
	自然環境課		—	—	—			成果指標	九州自然歩道利用者数(人)	308,902	280,477	90%			
										—	-	—			
取組項目	自然公園施設補修費		14,650	2,550	6,452	県内の優れた自然を享受する公園利用者	既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施した。	活動指標	施設修繕箇所数(箇所)	5	6	120%	公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の予防に寄与した。	○	
			自然環境課	8,413	8,413			6,459	成果指標	事故発生件数(件)	0	0			100%
	0	—				—									
	自然公園維持管理費		6,425	6,425	3,629	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の保護管理、金泉寺山小屋の指定管理、県有施設敷にかかる国有林野借上料及び清掃活動負担金等。	活動指標	清掃活動箇所数(箇所)	5	5	100%			適切な公園施設の利用に寄与した。
			自然環境課	6,794	6,794			7,670	成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
	0	-				—									
	雲仙公園維持管理費		22,446	2,067	8,872	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	雲仙国立公園内県有施設等の維持管理を実施した。	活動指標	雲仙公園内公衆便所清掃箇所数(箇所)	17	17	100%	適切な雲仙公園施設の利用に寄与した。		
			自然環境課	26,263	9,039			9,689	成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0			100%
	0	-				—									
	宝原道路維持管理費		238	0	2,420	宝原道路利用者	公園車道宝原道路において、安全施設等の改修を行い利用車両の安全を図った。	活動指標	改修箇所数(箇所)	1	1	100%			公園車道宝原道路において、老朽化したガードケーブルの改修を行い利用車両の安全が図られた。
			自然環境課	3,801	3,493			2,422	成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
	0	—				—									
	花のある街かどづくり事業費		1,188	1,188	2,016	道路沿線を通過する観光客及び地域住民	美しい長崎県づくり推進のために、長崎市及び佐世保市の玄関口にあたる道路沿線に整備した緑地の維持管理を行った。	活動指標	緑地箇所数(箇所)	2	2	100%	年間を通じ、適切な道路沿線緑地の維持管理業務が図られた。		
			自然環境課	5,320	5,320			3,633	成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0			100%
	0	—				—									
	自然公園標識設置費		633	633	1,613	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の適正な保護管理と利用の増進を図るため、案内板・解説板・指導標等を設置した。	活動指標	自然公園標識設置数(箇所)	1	1	100%			熊本震災の影響により利用者数が減少し、成果指標の目標を達成できなかったが、公園内の希少野生動植物に関する標識を設置し、利用者に対して有益な自然情報の提供を行うことができた。
			自然環境課	842	842			1,211	成果指標	自然公園利用者数(千人)	14,512	13,695	94%		
	14,608	—				—									
	取組項目	自然ふれあい情報強化事業	(H28 終了) H27-28	2,432	2,432	5,646	自然公園に対する興味が高い中高年層及び外国人	中高年層、韓国・欧米人をメインターゲットとして、世界遺産構成資産や温泉などの興味地点に加え、トレッキングに適した九州自然歩道のルートマップなどの総合的な自然情報を作成するとともに、HPの充実を図り、利用者に詳細な情報提供を行った。	活動指標	情報媒体制作数(件)	1	1	100%	自然環境課のホームページアクセスは鳥インフルエンザの情報提供等も行っているため年によって変動がある。H28は発生がなかったためアクセスは少なく目標に到達しなかったが、自然公園施設を紹介する新たなホームページを制作し、県民への情報発信を行った。	
		自然環境課		—	—	—			成果指標	ホームページアクセス数(件)	10,500	8,617	82%		
											—	-	—		

取組 項目	緑といきもの賑わい事業		12,507	0	5,646	市町、NPO等民間団体	長崎県生物多様性保全戦略に基づいた各種保全対策を推進するため、従来の緑化事業に加え、保全地域等の保全事業や希少野生動植物の保護増殖等に民間団体等とともに取り組んだ。	活動指標	補助団体数(団体)	5	5	100%	市街地における緑地が増加するとともに希少野生動植物の保全に貢献することができた。	○			
					5			—	—								
		自然環境課		14,247	0			6,459		成果指標	緑化事業実施箇所数(箇所)	6			7	116%	
												6			-	—	
	自然に親しむ運動推進費	(H28 終了)	894	894	2,016	地域の自然に関心がある者	国立・国定・県立自然公園などのすぐれた自然景観や希少野生動植物の生息生育環境、身近なふるさとの自然環境を保全・再生するとともに、観光等の地域振興に活用できる人材を育成するため、五島と島原において実施し、地域の自然のすばらしさを理解する場を提供した。	活動指標	新規アクティビティ実施数(回)	1	1	100%	幅広い年齢層の参加者に興味を持ってもらうことができ、将来の地域ガイド予備軍の発掘・育成にもつながった。				
								—	—	—							
			自然環境課		—			—	—		成果指標	参加者満足度(%)			100	100	100%
															—	—	—
	島原半島満喫プロジェクト推進事業	(H29 新規) H29-33	—	—	—	島原半島の優れた自然を享受する利用者	国立公園「雲仙」やユネスコ世界ジオパーク等の島原半島が有する豊かな自然観光資源を活用し、関係機関と連携を図りながら、インバウンド対策等を進め、島原半島地域の活性化を図る。	活動指標	協議会開催数(回)	—	—	—	—				
								2	—	—							
			自然環境課		7,448			3,724	11,304		成果指標	国立公園ステップアッププログラムの策定			—	—	—
															策定	—	—

3.実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

)自然公園施設等の計画的整備の推進 公園利用者が訪れた公園内において、自然環境の魅力を十分享受し、かつ快適で安全に利用できるよう、公園全体の基礎的な部分の視点に立った公園計画の検討、自然環境整備交付金等を活用した効果的・効率的な整備を行い、引き続き対象となる公園が有する豊かな自然環境とふれあえる公園施設づくりを確実に推進する。
)人にやさしい施設への対応 老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を行うとともに、公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。今後も計画的な維持管理を行うとともに、補修が発生した場合は早急な対応を行っていく必要がある。
)多様なニーズに対応した自然体験情報の発信 自然公園の魅力や施設情報について新たにホームページを作成し、利用者に対して適切な情報提供を行っており、引き続き最新の情報を提供していく必要がある。
)エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供 エコツーリズムを推進するための必要な人材育成事業を実施するとともに、地域資源の保全等に取り組む民間団体や市町等の多様な主体に対する補助を行っており、引き続き適切な事業への補助を行う必要がある。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容	30年度事業の実施に向けた方向性		
		(H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	自然公園計画検討費	—	—	国定公園・県立自然公園は、自然公園としての資質を維持するために保護と利用を計画的に実施する必要があり、今後も本事業を継続し定期的に区域内外の自然環境の変化や区域線の明確化、利用形態の変化等を検討していく必要がある。	現状維持
取組項目	自然公園施設補修費	—	—	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全性が損なわれることがないよう、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	自然公園維持管理費	—	—	利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	雲仙公園維持管理費	—	—	雲仙公園利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	宝原道路維持管理費	—	—	宝原道路利用者の安全性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	花のある街かどづくり事業	大塔緑地にかかる業務を廃止		より効率的な管理運営方法を行うため維持管理業務の内容を見直し改善を図る。	改善
	自然公園標識設置費	—	—	利用者の利便性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
取組項目	緑といきもの賑わい事業	—	—	豊かな生活空間確保・地球温暖化防止のための緑化事業及び生物多様性の保全は今後益々重要な環境問題であり、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	島原半島満喫プロジェクト推進事業	H29新規		島原半島地域の活性化を図るため、平成30年度においては、環境省が進める国立公園満喫プロジェクトの国立公園「雲仙」への具体的取組の展開を進める。	拡充